

R410A 冷媒R410A採用機種 (224～335型)

COMPACT GUIDE

コンパクトガイド

2020年度版



工事

冷媒配管	P.02・03
冷媒追加封入量について	P.04・05
既設配管流用時の対応	P.05～07
配線工事	P.07・08

制御

1. 室内プリント基板上からの信号	P.09
2. 遠方発停機能	P.09・10
3. 年間冷房 (室外ユニット)	P.10
4. その他の機能 (室外ユニットからの設定)	P.11～13
5. リモコンの機能選択	P.14～19

試運転

試運転・引き渡し	P.20
----------	------

修理

ユニット停止原因コード表	P.21
アラーム (異常) 原因コード表	P.21～23

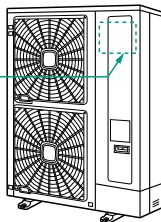
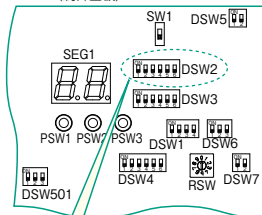


■ 冷媒配管

● 配管長ディップスイッチの設定

冷媒配管長が5m以下または30m以上の場合のみDSW2の設定が必要です。

PWB1 (制御基板)



(注) プリント基板の形状は機種により異なります。

DSW2 (下表 ■ の側はDSWの位置を示します。)

出荷時	配管長5m以下	配管長30m以上
ON 	ON 	ON

(注) No.3～6ピンの設定は点検メーハンによります。

● フレアナット締付トルク (JIS B 8607)

配管サイズ (mm)	フレアナット締付トルク
φ 6.35 (1/4")	14～ 18 (N・m)
φ 9.52 (3/8")	34～ 42 (N・m)
φ12.7 (1/2")	49～ 61 (N・m)
φ15.88 (5/8")	68～ 82 (N・m)
φ19.05 (3/4")	100～120 (N・m)

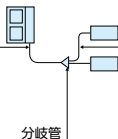
●配管サイズ・分岐管型式(省エネの達人プレミアム(R410A)[GH型]・省エネの達人(R410A)[SH型])

ツイン(224~335型)

室外ユニット～分岐管 配管サイズ

室外ユニット 容量・型名	配管サイズ(φmm)	
	ガス	液
224型	25.4	9.52※
280・335型	25.4	12.7

※配管長が70m以上の場合は、液配管をφ12.7にしてください。



分岐管～室内ユニット間 配管サイズ

室内ユニット 容量・型名	配管サイズ(φmm)	
	ガス	液
22~63型	12.7	6.35
71~160型	15.88	9.52

(注) 室内ユニット224・280型を含んだ接続はできません。

分岐管

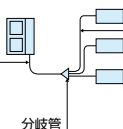
室外ユニット 容量・型名	分岐管型式	分岐管の室内ユニット側 配管接続サイズ(φmm)	
		ガス	液
224~335型	TW-NP28A	15.88	9.52

トリプル(224~335型)

室外ユニット～分岐管 配管サイズ

室外ユニット 容量・型名	配管サイズ(φmm)	
	ガス	液
224型	25.4	9.52※
280・335型	25.4	12.7

※配管長が70m以上の場合は、液配管をφ12.7にしてください。



分岐管～室内ユニット間 配管サイズ

室内ユニット 容量・型名	配管サイズ(φmm)	
	ガス	液
22~63型	12.7	6.35
71~160型	15.88	9.52

(注) 室内ユニット224・280型を含んだ接続はできません。

分岐管

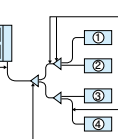
室外ユニット 容量・型名	分岐管型式	分岐管の室内ユニット側 配管接続サイズ(φmm)	
		ガス	液
224~335型	TG-NP28A	12.7/15.88	6.35/9.52

フォー(224~335型)

室外ユニット～第1分岐管 配管サイズ

室外ユニット 容量・型名	配管サイズ(φmm)	
	ガス	液
224型	25.4	9.52※
280・335型	25.4	12.7

※配管長が70m以上の場合は、液配管をφ12.7にしてください。



第1分岐管～第2分岐管 配管サイズ
第2分岐の分岐管選定

第2分岐後の 室内ユニット 合計容量 ①+②または ③+④	第1分岐～ 第2分岐間の 配管径(φmm)		第2分岐の 分岐管型式
	ガス	液	
63以下	12.7	6.35	TW-NP06A
63超え	15.88	9.52	TW-NP16A

第1分岐の分岐管選定

室外ユニット 容量・型名	分岐管型式	分岐管の室内ユニット側 配管接続サイズ(φmm)	
		ガス	液
224~335型	TW-NP28A	15.88	9.52

第2分岐管～室内ユニット間 配管サイズ

室内ユニット 容量・型名	配管サイズ(φmm)	
	ガス	液
22~63型	12.7	6.35
71~160型	15.88	9.52

(注) 室内ユニット224・280型を含んだ接続はできません。

■ 冷媒追加封入量について

室外ユニットには予め冷媒が封入されていますが、配管合計長さがチャージレス長を超える場合には適正な冷媒量を追加封入する必要があります。以下の要領で追加封入量を計算し、冷媒を追加してください。また、冷媒フロン類を適切に管理するため、取扱説明書に同梱された「冷媒漏えい点検・整備記録簿」に記載してください。（製品のサービスカバー裏面に貼り付けてある「注意銘板」にも記載欄があるため、記入をお願いします。）

①容量別出荷時封入量、チャージレス長

●省エネの達人プレミアム (R410A) [GH型]

容量・ 型名	出荷時冷媒 封入量 (kg)	チャージ レス長 (m):ℓ	追加補正 係数:P	最大 追加量 (kg)
224型	6.1	30	1.6	10.3
280型	6.3	30	2.0	12.1
335型	7.2	30	2.0	12.1

●省エネの達人 (R410A) [SH型]

容量・ 型名	出荷時冷媒 封入量 (kg)	チャージ レス長 (m):ℓ	追加補正 係数:P	最大 追加量 (kg)
224型	6.1	30	1.6	10.3
280型	6.3	30	2.0	12.1
335型	7.2	30	2.0	12.1

(注)「かべかけ（膨張弁機外取付タイプ）」を使用する場合、膨張弁キットと室内ユニット間の配管長さに対し0.05kg/mの冷媒を追加してください。

②追加封入量の計算のしかた

追加封入量は、液配管の配管径と配管長より求めます。

(計算式)

配管径

各配管合計長さ (m)

追加封入量 (kg)

φ12.7…

×0.12

=

φ9.52…

×0.065

=

φ6.35…

×0.065※

=

配管合計長さ (m)

計算封入量合計W₁ = (kg)

追加封入量W = W₁ - P

= (kg)

(注) 配管合計長さ30m以下の場合は追加封入不要

※ 224・280GH型において室内ユニットの接続台数が推奨台数(4台)を超える場合は「0.030」としてください。

留意事項

冷媒追加封入量は上表に示す最大追加量以下としてください。

(計算例)RAS-AP335GH3の場合

配管径

各配管合計長さ (m)

追加封入量 (kg)

φ12.7…

(30) ×0.12

=3.6

φ9.52…

(5+5+5+5) ×0.065

=1.3

φ6.35…

(10+10) ×0.065

=1.3

配管合計長さ70 (m)

計算封入量合計W₁ =6.2 (kg)

[30mを超えているため追加が必要]

W₁ 補正係数P

追加封入量 W = 6.2 - 2.0 = 4.2 (kg)

φ12.7×30m φ9.52×5m φ6.35×10m

(図象は液配管の配管径×長さを示します。)

③容量別再封入時の冷媒量

移設などで冷媒を一度回収し再封入する場合は、以下の要領に従ってください。

- (a) 総配管長がチャージレス長以下の場合：下表に従い冷媒を封入してください。
 (b) 総配管長がチャージレス長を超える場合：「出荷時封入量+追加封入量※」により求めた冷媒封入量としてください。

※ 追加封入量は「②追加封入量の計算のしかた」に従って計算してください。

●省エネの達人プレミアム (R410A) [GH型]

(単位:kg)

容量・ 型名	配管長(m)			
	5未満	5以上10未満	10以上20未満	20以上30以下
224型	5.40	5.60	5.85	6.10
280型	5.40	5.60	5.95	6.30
335型	6.60	6.70	6.95	7.20

●省エネの達人 (R410A) [SH型]

(単位:kg)

容量・ 型名	配管長(m)			
	5未満	5以上10未満	10以上20未満	20以上30以下
224型	5.40	5.60	5.85	6.10
280型	5.40	5.60	5.95	6.30
335型	6.60	6.70	6.95	7.20

■既設配管流用時の対応

〈省エネの達人プレミアム (R410A)・省エネの達人 (R410A) 共通〉

	●洗浄には、不燃性・非毒性の洗浄液を使用してください。可燃性の洗浄液を使用しますと爆発や火災の原因になります。	!
	●密閉した場所での作業は、酸欠の恐れがありますので、十分な換気をしながら実施してください。また、洗浄液は、火気に触れるなどして高温状態となりますと、有毒ガスが発生する原因になります。	!
	●洗浄液は、洗浄後に必ず回収してください。フロン類をみだりに大気中に放出することは法律により禁じられています。	!

留意事項	φ19.05の既設配管を使用する場合は、室外プリント基板のDSW2の4番ピンをONしてください。暖房運転時の高圧圧力を許容圧力の3.6 (MPa) 以下とするためです。詳細は下記をご覧ください。
------	---

既設配管流用時の条件

●下記の条件を全て満たせば、洗浄レスで既設配管の流用が可能です。

条件1	配管長(総長):50m までであること(※1)
条件2	店舗用エアコン(新規交換機)が335型相当以下であること
条件3	既設配管に腐食、亀裂、傷、変形がなく、内部が汚れていないこと
条件4	■配管肉厚・フレアナットなど、JIS規格品を使用すること ■フレアを再加工すること ■配管の気密・真空引きなど新規配管と同様、確実に行うこと ■断熱材、配管の支持部材に損傷がある場合は補修または交換のこと

※1 配管長(総長)が50mを超える場合は配管洗浄を実施していただくことで既設配管の流用が可能です。また、洗浄を実施した場合は、リニューアルキットの取り付けは不要です。

※2 既設エアコンの撤去時は、フロン回収が義務づけられています。

施工手順

店舗用パッケージエアコン224～335型

圧縮機が現在故障している場合

圧縮機の故障履歴があるが
現在正常または故障履歴がわからない

冷媒回収装置で冷媒を回収

既設エアコンで約30分冷房運転後
そのまま停止せず冷媒回収運転

既設エアコンを取り外す※2

リニューアルキット(別売)を接続

新設エアコンを既設配管に接続

室外ユニット 容量・型名	リニューアルキット型式	
	室外ユニット機外取付 [短管(現地)+既設配管]	室外ユニット機内取付 [キット+既設配管]
224型	—	TRF-NP280U
280・335型	—	TRF-NP335U1

〈既設エアコンが
他社製品の場合〉

- 上記条件を全て満たせば、既設エアコンが他社製品でも既設配管が利用できます。
- ツイン・トリプル・フォーの分岐管は、当社指定の分岐管に変更してください。
- 既設のエアコンがガスヒートポンプの場合は、配管洗浄を行ってください。

■既設配管が、標準配管径と異なる場合は、下表および次頁の上表の許容配管長以下としてください。
(洗浄レスの場合の許容配管長) 標準仕様

配管 サイズ	液配管	外径	φ9.52			φ12.7				φ15.88		
	(mm)	肉厚	t0.8			t0.8				t1.0		
	ガス配管	外径	φ19.05	φ22.2	φ25.4	φ19.05	φ22.2	φ25.4	φ28.58	φ22.2	φ25.4	φ28.58
	(mm)	肉厚	t1.0	t1.0	t1.0	t1.0	t1.0	t1.0	t1.0	t1.0	t1.0	t1.0
容量・ 型名	224型		50m	50m	50m	50m	50m	50m	—	50m	50m	—
	280・335型		—	—	—	—	50m	50m	50m	50m	50m	50m

(注1) φ6.35～φ15.88の配管材質(質別)はO材となります。φ19.05の配管材質は1/2H材となります。

φ19.05の配管にO材を使用する場合は、制約がありますので下記をご参照ください。

(注2) 洗浄レスの場合の配管長(総長)はすべて50m以下です。

(注3) 液配管をサイズダウンした場合、室内ユニットの膨張弁許容量との関係から運転範囲が狭まります。

■ガス配管φ19.05mm(O材)の既設配管を流用する場合は必ず、室外プリント基板上のDSW2の4番ピンをONにしてください。(ガス配管φ19.05mmの肉厚は1.0mm以上であることを確認してください。)

(注) ガス配管φ19.05mm(O材)を使用する場合は気密試験圧力は3.6MPaとしてください。

■液配管をサイズアップする場合、下記要領に従い冷媒の追加封入が必要となります。

追加封入量は4ページの「冷媒追加封入量について」を確認して計算をしてください。(チャージレス長(冷媒追加不要長さ)が変更となります。)

容量・型名	液配管径(mm)		配管長(m)			
	標準サイズ	サイズアップ	10未満	10以上15未満	15以上20未満	20以上50以下
224型	φ9.52	φ12.7	追加 不要		0.12kg/m追加	
	φ12.7	φ15.88				
280・335型	φ12.7	φ15.88			0.19kg/m追加	

液配管をサイズアップした場合のチャージレス長

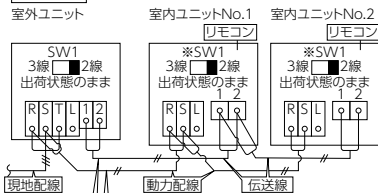
(注) 分岐管～室内ユニットの配管径は室内ユニット接続口と同一サイズを基本としますが、室内ユニットが既設ユニットと同じ容量の場合は1サイズアップまで可能です。

配線工事

警告	●電気工事は「電気設備に関する技術基準」「内線規程(JEAC 8001)(最新のもの)」および据付点検要領書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。据付点検要領書の記載と異なる電気工事をし、電源回路容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。	!
	●アースの接続はD種接地工事により電気工事士の方が行ってください。室内外ユニットにアースを取り付けないと、感電など思わぬ事故につながります。アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。	! 
	●漏電遮断器を必ず設置してください。法規(電気設備に関する技術基準を定める省令)により設置が定められています。設置しないと地絡により火災や感電の原因になります。	!

■e-LINE (e方式) における2線式室内・室外プリント基板上のスイッチ設定方法

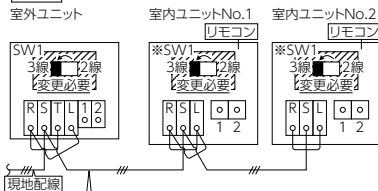
出荷時設定 H-LINK II (図象はツイン・B方式の場合を示します)



- (注1) 室外ユニットが三相機の場合を示します。単相機の場合は、動力部がR・Sになります。
(注2) 現地配線は、R・S・Tの相を合わせて結線してください。また室内外ユニット間の渡り動力配線は室内ユニットと必ず記号を合わせて接続してください。

室内外ユニット間の渡り線は、動力配線と伝送線別々の接続作業が必要です。

設定時 e-LINE (図象はツイン・e方式の場合を示します)



SW1の設定変更が必要です

※組み合わせる室内ユニットに付属の据付点検要領書でe-LINE (e方式) が可能かどうか、また、SW1の有無を確認してください。SW1不付きの室内ユニットは、e-LINE (e方式) を自動判別のため設定は不要ですが、SW1付きの室内ユニットは設定変更が必要です。

室内外ユニット間の渡り線は、電源線(3芯)のみです。(注3)

(注1) e-LINE (e方式) とした場合の室内外ユニット渡り配線長は総長80m以下としてください。

(注2) e-LINE (e方式) の場合は、集中制御、H-LINK IIの接続はできません。

(注3) てんぐめ224・280型の電源線は4芯となります。

(注4) トリプルでe-LINE (e方式) とする場合、個別運転はできません。

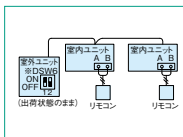
(注5) フォーはe-LINE (e方式) に対応していません。

(注6) 室外ユニットが三相機の場合を示します。単相機の場合は、動力部がR・S・Lになります。

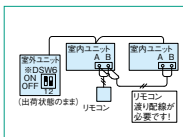
(注7) 現地配線は、R・S・Tの相を合わせて結線してください。また、室内外ユニット間の渡り電源線は室内ユニットと必ず記号を合わせて接続してください。

■ツイン・トリプル・フォーのリモコン接続方法

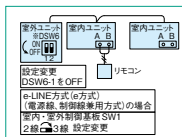
1 個別運転でリモコンを個別に取り付ける場合



2 個別運転でリモコン1台で運転する場合



3 同時運転の場合 室内ユニット型式がGP・AP型の場合



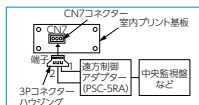
(注) e-LINE (e方式) はトリプル・フォーにおいて個別運転はできません。また、室内ユニットを4台以上接続する場合はe-LINE (e方式) に対応していません。

※室外ユニットによっては3ピンのスイッチとなる場合があります。(設定方法は変わりません)

1. 室内プリント基板上からの信号

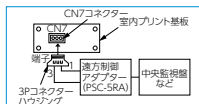
1 運転信号の取り出し

運転指令（サーモによる圧縮機停止に無関係）を取り出す場合に利用します。運転出力をCN7の1番・2番に設定した場合の取り出し要領を右図に示します。接点は運転指令で閉となります。遠方操作時の信号の確認などに利用できます。



2 警報信号の取り出し

保護装置作動状態の信号を取り出す場合に利用します。なおリモコンの伝送異常状態は含まれません。警報出力をCN7の1番・3番に設定した場合の取り出し要領を右図に示します。接点は警報（保護装置作動状態）で閉となります。



2. 遠方発停機能

共通事項

ビル遠方制御装置から空調機を自動的に運転・停止させる機能であり、ビル遠方制御装置からの信号の種類により選択できます。工場出荷時は、遠方発停1入力が、CN3の1番・2番に設定されています。他の機能を使用する場合は、設定変更が必要となります。

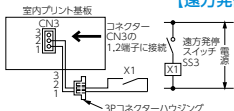
留意事項

- 電源投入後、約10秒間は機器のイニシャライズをするため、信号の検出はできません。この間での信号切り替え（運転⇄停止）はやめてください。
- 本機能には、ワイヤードリモコン、または受光部キット（昇降専用受光部キットを除く）が必要です。リモコンレスでは、本機能を使用することができません。ただし、かべかけの場合は、かべかけ内蔵受光部（ワイヤレス設定）でも使用可能です。
- 複数の室内ユニットを同時に遠方発停する場合はリモコンを渡り配線接続し、いずれかの室内ユニット1台に信号を入力してください。
- 同時ツイン・同時トリプル・同時フォーのリモコン渡り配線廃止接続の場合は、リモコンを接続した室内ユニットに信号を入力してください。
- 遠方発停1と強制停止後リモコン禁止の併用はできません。
- 3Pコネクタハウジングは電子制御部品オプション「3Pコネクタ 型式PCC-1A」をご使用ください。

(1) 遠方発停1（レベル信号入力）

ビル遠方制御装置からの信号がレベル信号（ONまたはOFF）の場合の遠方発停機能であり、遠方発停1入力をCN3の1番・2番に設定した場合の基本シーケンスを下図に示します。

【遠方発停1 基本シーケンス例】



●リレー接点仕様

オムロン製ミニパワーリレー
型式MY1F（または2F）相当品

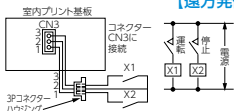
電圧100V
または200V

●注意
遠方発停スイッチによりユニットが運転を開始する場合はリモコンに記憶された運転モード、風量設定に従います。

(2) 遠方発停2（パルス信号入力）

ビル遠方制御装置からの信号がパルス信号の場合の遠方発停機能であり、運転入力をCN3の2番・3番に、停止入力をCN3の1番・2番に設定した場合の基本シーケンスを下図に示します。

【遠方発停2 基本シーケンス例】



●リレー接点仕様

オムロン製ミニパワーリレー
型式MY1F（または2F）相当品

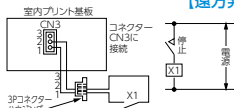
電圧100V
または200V

●注意
パルス信号幅は200ms以上としてください。

(3) 遠方発停3 (切り忘れ防止)

遠方発停2と同一の設定をしてください。ビル遠方制御装置からの信号により、運転している室内ユニットを停止することができます。停止している室内ユニットに、この信号が入力されても停止のままとなります。停止入力をCN3の1番・2番に設定した場合の基本シーケンスを下図に示します。

【遠方発停3 基本シーケンス例】



●リレー-接点仕様

オムロン製ミニパワーリレー
型式MY1F(または2F) 相当品

電圧100V
または200V

●注意 パルス信号幅は200ms以上としてください。

●入出力番号表示と設定コネクタの関係

入出力 番号表示 入出力	設定対象ポート (コネクタ番号)	備 考	工場出荷時の 設定	
			設定内容	表示
入力1	CN3 1-2番		遠方発停1 (レベル)	03
入力2	CN3 2-3番		強制停止後 リモコン禁止	06
出力1	CN7 1-2番		運転	01
出力2	CN7 1-3番		警報	02
出力3	CN8 1-2番		暖房サーモ オン	06

●表示と入出力信号との関係

表示コード	入力	出力
00	未設定	未設定
01	ルームサーモ (冷房)	運転
02	ルームサーモ (暖房)	警報
03	遠方発停1 (レベル)	冷房
04	遠方発停2 (運転パルス)	冷房サーモ オン
05	遠方発停2 (停止パルス)	暖房
06	強制停止後 リモコン禁止	暖房サーモ オン
07	遠方冷暖切換	全熱交
08	昇降グリル 入力	昇降グリル 出力
09	設定温度 セットバック	ファン 運転信号
10~15	未設定	未設定

3. 年間冷房 (室外ユニット)

室外ユニットオプションの防風セット (WSP-SP10A・WSP-SP10B) との併用により、外気温度-15℃まで冷房運転が可能です。

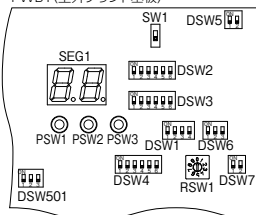
設定方法

- ・室外プリント基板上のDSW2-3をON側に設定。
- ・室外プリント基板上のDSW6-1をOFF側に設定 (同時運転設定となります)。

留意事項

年間冷房設定は、ツイン以上において室内ユニット個別運転設定にした場合、対応できません。

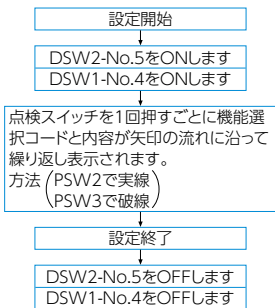
PWB1 (室外プリント基板)



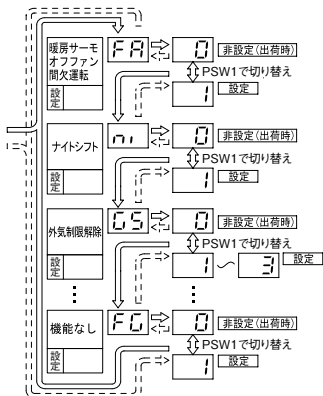
4. その他の機能 (室外ユニットからの設定)

●機能選択設定方法

機能選択設定は、室外ユニット停止中に行ってください。運転中、点検モード、外部入出力設定中は設定できません。



(注) 機能選択を設定した際は、製品付属の据付点検要領書に各設定状況を機能一覧表の設定番号に○をつけて記録してください。



警告

プリント基板のスイッチを操作する場合は、他の電気品に絶対触れないでください。
感電の原因になります。



項番	表示	設定	設定内容
1	FA	1	暖房サーモオフファン間欠運転
2	n1	1	ナイトシフト
3	GS	1	暖房外気制限解除
		2	冷房外気制限解除
		3	冷房・暖房外気制限解除
4	Jo	1	除霜条件切換 (寒冷地)
		2	除霜条件切換 (温暖)
5	bu	1	微風除霜設定
6	Hr	1	室外ホットスタート制御解除 (335型のみ)
7	nu	1	冷房能力補正モード1
		2	冷房能力補正モード2
		3	冷房能力補正モード3
8	Hc	1	冷房能力優先モード
9	Hh	1	暖房能力優先モード

項番	表示	設定	設定内容
10	Sc	1	機能なし
11	S1	1	暖房停止ユニット開度変更1
		2	暖房停止ユニット開度変更2
12	So	1	暖房サーモオフ開度変更1
		2	暖房サーモオフ開度変更2
13	c1	1	暖房始動開度変更1
		2	暖房始動開度変更2
14	db	1・4・7	運転音低減設定1
		2・5・8	運転音低減設定2
		3・6・9	運転音低減設定3
15	de	1	デマンド機能常時有効
16	ue	1	ウェーブ機能有効
17	Fb	1	冷房吹出温度低下防止1
		2	冷房吹出温度低下防止2

項番表示	設定	設定内容
18 Ff	1	機能なし
	2	機能なし
19 Ei	1	機能なし
20 ds	1	除霜復帰時強制停止
21 Fi	1	室外送風機間欠運転1
	2	室外送風機間欠運転2
	3	室外送風機間欠運転3
	4	室外送風機間欠運転4
22 F2	1	機能なし
23 F3	1	機能なし
24 F4	1	機能なし
25 F5	1	交互除霜モード有効
26 F6	1	機能なし
27 F7	1	機能なし

項番表示	設定	設定内容
28 F8	1	機能なし
29 F9	1	不在判定除霜解除
30 Fc	1	機能なし
31 Fd	1	機能なし
32 Fe	1	機能なし
33 Ff	1	機能なし
34 F0	1	機能なし

(注1) No.8・9の能力優先モードを設定した場合、設定前に対して3～5dB(A)運転音がアップする場合があります。

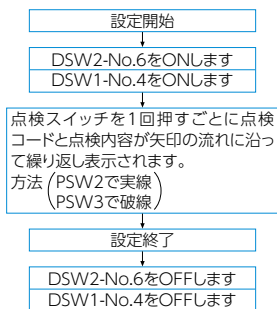
(注2) 機能なしについては設定しないでください。

(注3) 出荷時はすべての項目が「0(設定なし)」となっています。

(注4) No.14の運転音低減設定において、「4」「7」を設定しても表示は「1」、「5」「8」を設定しても表示は「2」、「6」「9」を設定しても表示は「3」になります。

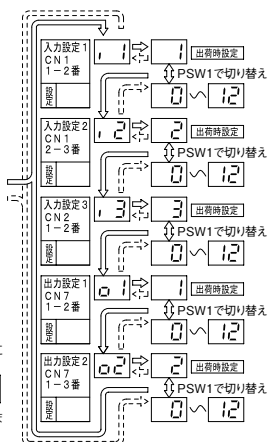
●外部入出力設定方法

外部入出力設定は、室外ユニット停止中に行ってください。運転中、点検モード、機能選択設定中は設定できません。

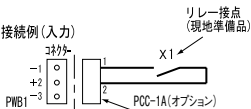


(注1) 外部入出力を設定した際は各設定ごとに機能番号を製品付属の据付点検要領書に記入してください。
例 1に設定した場合を示します。

(注2) 異なる入力端子に同じ機能の設定はできません。
設定された場合は、入力番号の大きい設定は無効となります。



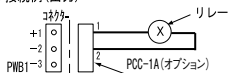
○接続例(入力)



○リレー接点仕様

メーカー・仕様	備考
オムロン製ミニパワーリレー 型式MY1F(または2F)相当品	電圧100V または200V

○接続例(出力)



○リレー仕様

メーカー・仕様
オムロン製ミニパワーリレー 型式LY2F DC12V

警告

プリント基板のスイッチを操作する場合は、他の電気品に絶対触れないでください。

感電の原因になります。

SEG1	入力	出力
0	設定なし	設定なし
1	暖房モード固定	運転信号
2	冷房モード固定	警報信号
3	デマンド停止	圧縮機オン信号
4	室外送風機間欠運転	除霜信号
5	強制停止	—
6	デマンド電流制御40%	—
7	デマンド電流制御60%	—
8	デマンド電流制御70%	—
9	デマンド電流制御80%	—
10	デマンド電流制御100%	—
11	アクティブフィルタ 異常検知※2	—

※2. 入力設定3 (CN2 1-2番) に設定した場合のみ有効となります。

●保護制御コード

コード	保護制御名
P1	圧力比制御
P2	高圧圧力上昇防止制御
P3	インバータ電流保護制御・ 電源電圧アンバランス保護制御
P4	インバータフィン温度上昇保護制御
P5	吐出ガス温度上昇防止制御
P9	高圧圧力低下防止制御
PR	電流デマンド制御

●リトライ制御中コード

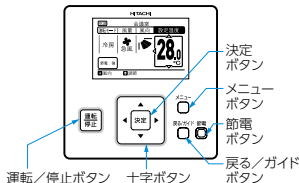
コード	保護制御名
P7	インバータトリップ リトライ制御
P8	電圧降下(または過電圧) リトライ制御

5. リモコンの機能選択

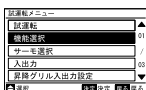
多機能リモコン(PC-ARF5・PC-ARFV4)の場合

●オプション設定方法(例)

- ①運転/停止ボタンでパッケージを停止させる



- ②メニューボタンと戻る/ガイドボタンを同時に3秒以上押す



- ③△▽ボタンで機能選択を選択して決定ボタンを押す



- ④十字ボタンを押して、設定対象の室内ユニットを選択して決定ボタンを押す

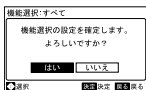


- ⑤△▽ボタンを数回押して項目を選択する
(注) 節電ボタンを押すと、項目・設定を漢字・仮名で表示します。参考表示です。詳細はP.15~19を確認してください。



- ⑥<△>ボタンを数回押して「01」とする

- ⑦決定ボタンを押して確認画面を表示する



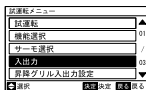
- ⑧[はい]を選択して決定ボタンを押すと設定を確定して、試運転メニューを表示する

- ⑨試運転メニューで戻る/ガイドボタンを押すと通常モードに戻る

●入出力設定方法(例)

- ①運転/停止ボタンでパッケージを停止させる

- ②メニューボタンと戻る/ガイドボタンを同時に3秒以上押す



- ③△▽ボタンで入出力を選択して決定ボタンを押す

- ④十字ボタンを押して、設定対象の室内ユニットを選択して決定ボタンを押す



- ⑤△▽ボタンを数回押して項目を選択する

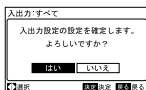


- ⑥<△>ボタンを数回押して「06」とする

- ⑦決定ボタンを押して確認画面を表示する



- ⑧[はい]を選択して決定ボタンを押すと設定を確定して、試運転メニューを表示する



- ⑨試運転メニューで戻る/ガイドボタンを押すと通常モードに戻る

●オプション設定項目〈PC-ARF5・PC-ARFV4共通〉

設定項目	名 称	個別設定	設定内容	設定
b1	暖房設定温度補正	○	00:通常 01:解除 02:設定温度2℃アップ 03:設定温度3℃アップ 04:設定温度1℃アップ } ※1	
b2	暖房サーキュレーター	○	00:無効 01:有効	
b3	圧縮機3分オフガード	○	00のまま使用してください	
b4	フィルターサイン時間	○	00~04 ※2	
b5	運転モード固定	×	00:無効 01:有効	
b6	設定温度固定 ※3	×	00:無効 01:有効	
b7	冷専固定	×	00:無効 01:有効	
b8	冷暖自動機能	×	00:無効 01:有効	
b9	風量固定	×	00:無効 01:有効	
bA	予備	—	使用しません	
bb	冷房設定温度補正	○	00:標準 01:設定温度1℃ダウン 02:設定温度2℃ダウン	
bc	室内ユニット個別/同時運転 ※4	×	00:個別運転 01:同時運転	
bd~C2	予備	—	使用しません	
C3	HA機能	○	00:無効 01:有効	
C4	暖房時ドレンポンプ運転	○	00:無効 01:有効	
C5	室内ファン増速	○	00:無効 01:増速1 02:増速2 } ※5	
C6	暖房サーモオフ時増速	○	00:無効 01:有効	
C7	圧縮機3分オフガード解除	○	00:標準 01:解除	
C8	リモコンサーモ・リモートセンサー	○	00~02 ※6	

※1. "02"、"03"、"04"の設定は室内ユニットの種類により設定できない場合があります。複数の室内ユニットに接続する場合は、個別設定にて設定してください。

※2. 00:室内ユニット標準 01:100:時間 02:1200:時間 03:2500:時間 04:表示なし

※3. "r1"が"01"かつ運転モードが冷暖自動で"b6"を"01"に設定した場合、運転モードを変更すると、冷暖自動以外の温度は"r1"が"00"のときの冷暖自動の温度になります。

※4. 室外ユニットのプリント基板上のDSW6の1番ピンをONにすることで設定変更が可能です。

※5. 天埋・ビルトインでは 00:標準 01:高静圧1 02:高静圧2

※6. ■リモコンサーモ選択時

00:室内吸込サーミスターで制御 01:リモコンサーモで制御

02:室内吸込サーミスターとリモコンサーモの平均値で制御

■リモートセンサー接続時

00:室内吸込サーミスターとリモートセンサーの平均値で制御 01:リモートセンサーで制御

02:室内吸込サーミスターとリモートセンサーの平均値で制御

設定項目	名 称	個別設定	設定内容	設定
C9-CA	予備	—	使用しません	
Cb	強制停止論理選択	○	00:A接点 01:B接点	
CC	予備	×	00のまま使用してください	
Cd	ドライ運転湿度センサー選択	○	00のまま使用してください	
CE	予備	—	使用しません	
CF	ループスイング範囲変更	○	00～02 ※7	
d1	電源発停1	○	00:無効 01:有効	
d2	予備	—	使用しません	
d3	電源発停2	○	00:無効 01:有効	
d4	予備	○	使用しません	
d5	暖房吹出空気温度低下防止	○	00:無効 01:有効	
d6	予備	—	使用しません	
d7	昇降グリル降下距離	○	00～07 ※8	
E1	換気モード	○	00～02 ※9	
E2	給気風量アップ運転	○	00:無効 01:有効	
E3	予備	○	00のまま使用してください	
E4	予冷・予熱時間	○	00:なし 01:30分 02:60分	
E5	加湿器取付時の室内ファン残留運転	○	00:無効 01:有効	
E6	冷房停止時の室内ファン残留運転	○	00:無効 01:60分 02:120分	
E7	給排気ファン風量固定解除	○	00:無効 01:有効	
E8	暖房サーモオフ時ファン減速	○	00:無効 01:微風	
E9・EA	予備	—	使用しません	
Eb	冷房サーモオフ時ファン減速	○	00:無効 01:弱風 02:微風	
EC	冷房時強制サーモオン停止	○	00:無効 01:有効	
Ed	予備	—	使用しません	
EE	風速自動モード	○	00:無効 01:有効	
EF	風速自動モード(H急風対応)	○	00:無効 01:有効	
F0	予備	—	使用しません	

※7. 00:標準(7:段稼働) 01:ドラフト防止(下2:段カット) 02:高天井(上2:段カット)

※8. 00:室内本体標準 01:100cm 02:150cm 03:200cm 04:250cm 05:300cm
06:350cm 07:400cm

※9. 00:自動換気 01:全熱交換気 02:普通換気(E1～E4は全熱交換器の機能選択設定です。)

設定項目	名 称	個別設定	設定内容	設定
F1	切タイマー自動設定	×	00:24:0~24時間 0A:30分 0B:90分 0C:40分 0D:45分 0E:50分 0F:55分 } ※10	
F2	リモコン親子設定	×	00:親設定 01:子設定	
F3	設定温度自動復帰 ※11	×	00:無効 01:有効	
F4	自動復帰時間	×	00:30分 01:15分 02:60分 03:90分	
F5	冷房自動復帰温度 ※12	×	19~30:19℃~30℃ (工場出荷設定:25℃)	
F6	暖房自動復帰温度 ※13	×	17~30:17℃~30℃ (工場出荷設定:21℃)	
F7	リモコン停止遅延機能 ※14	×	00:無効 01:有効	
F8	操作ロック (運転モード)	×	00:操作有効 01:操作無効	
F9	操作ロック (設定温度)	×	00:操作有効 01:操作無効	
FA	操作ロック (風量)	×	00:操作有効 01:操作無効	
Fb	操作ロック (風向)	×	00:操作有効 01:操作無効	
FC	設定温度冷房下限値 ※12	×	00:標準設定温度範囲 01~10:冷房下限値1℃~10℃アップ	
Fd	設定温度暖房上限値 ※13	×	00:標準設定温度範囲 01~12:暖房上限値1℃~12℃ダウン	
FE~H1	予備	—	使用しません	
H2	ホットスタート非表示	×	00:表示 01:非表示	
H3~J2	予備	—	使用しません	
J3	運転ランプ色	×	00:緑 01:赤	
J4	予備	—	使用しません	
J5	工場出荷設定の連絡先表示	×	00:表示 01:非表示	
J6	エラー音	×	00:1回 01:連続	
J7	予備	—	使用しません	

※10. 0C~0F設定は2リモコン時は設定しないでください。

※11. 設定温度を変更してから“F4”で設定した時間内に変更が無い場合、“F5”または“F6”で設定した温度に自動的に切り換えます。
 (“F5”“F6”が設定温度範囲外の場合、設定温度の上下限値を適用します。)

※12. 運転モード「送風」「冷房」「ドライ」に適用

※13. 運転モード「暖房」に適用

※14. 運転時、[運転/停止] ボタンを3秒間押し続けると運転を停止します。

設定項目	名 称	個別設定	設定内容	設定
J8	エコ運転 ※15	×	00:無効 01:有効	
J9	予備	—	使用しません	
JA	簡易点検表示	×	00:無効 01:有効	
Jb	予備	—	使用しません	
K1	連続運転強制清掃	×	00:有効 01:無効	
K2	ホコリ回収サイン間隔設定	×	00:5000時間 01:2500時間	
K3	連続運転強制清掃間隔設定	×	00:12時間ごとに両面 01:6時間ごとに片面	
K4	予備	—	使用しません	
K5	人感センサー感度	○	00:標準 01:高感度 02:低感度	
K6	リモコンサーモ・リモートサーモ 選択時の運転モード選択	○	00:すべて 01:冷房 02:暖房 03:すべて	
K7	輻射温度センサー補正	○	00:標準 01:上方 02:下方 03:標準	
K8	ルーバー結露防止制御	○	00:無効 01:有効	
K9	予備	—	使用しません	
KA	漏えい判定時間	○	00:20秒 01:40秒	
L1	人感センサー取付位置	○	00:A 01:B 02:— 03:D	
L2	予備	—	使用しません	
L3	節電時のルーバー動作	○	00:弱 01:中 02:強 03:無効	
L4	節電サーモオフ時のファン増速	○	00:無効 01:有効	
L5	節電時のルーバー動作 有効/無効	○	00:無効 01:有効	
L6~Lb	予備	—	使用しません	
P1	設定温度単位	×	00:0.5℃ 01:1℃	
P2	予備	—	使用しません	
P3	センサー温度	×	00:吸込 ※16 01:吹出 02:リモコンサーモ 03:リモートセンサー	

※15. ボタン操作による運転再開時に“F5”または“F6”で設定した温度に自動的に切り換わります。

※16. “00”の場合、センサー温度は設定温度範囲内の表示になります。

設定項目	名 称	個別設定	設定内容	設定
P4	センサー温度表示	×	00:無効 01:有効	
P5	運転モード送風時の設定温度	×	00:表示 01:無効	
P6	節電ボタン操作	×	00:有効 01:無効	
P7	メニュー画面遷移禁止	×	00:無効 01:有効	
P8	機能選択、点検日本語表示	×	00:有効 01:無効	
P9	アラーム日本語表示	×	00:有効 01:無効	
PA~PC	予備	—	使用しません	
q1~qd	予備	—	使用しません	
r1	冷暖自動デュアル温度設定	×	00:無効 01:有効	
r2	冷暖切換温度設定	×	0.5~3.0:0.5℃~3.0℃ (工場出荷設定:1.0℃)	
r3	設定温度セットバック	×	0.5~5.5:0.5℃~5.5℃ (工場出荷設定:2.5℃)	
r4~S8	予備	—	使用しません	

留
意
事
項

リモコンに接続している室内ユニットが2台以上の場合、上表の個別設定の欄に「×」が付いている機能選択項目は、設定対象の室内ユニット選択で「すべて」を選択した時のみ設定状態の変更ができます。

■ 試運転・引き渡し

● 試運転上のご注意について

1. 電気部品端子と大地間をDC500V絶縁抵抗計で測って1MΩ以上であることを確認してください。1MΩ未満の場合は、**絶縁抵抗について**に従い確認してください。
2. 試運転の際は室外ユニットの阻止弁が完全に開いていることを確認のうえ、試運転してください。
3. 電源配線が欠相の場合、ユニットが運転されずリモコンにアラームコード「05」が表示されますので、電源および電源設備を確認してください。
4. クランクケースヒーターには通電されていますか。事前の通電をされていない場合には、最大で4時間運転できないことがあります。
5. 運転する12時間以上前より通電してください。
6. 冷房試運転時、室温はDB21.5℃、WB15℃、外気温はDB-5℃以上ですか。また、暖房試運転時、室温はDB27℃以下ですか。運転しない場合は、室内および外気の温湿度をご確認ください。(外気温DB-5℃未満の時は冷房運転しません。)

● 絶縁抵抗について

電気部品端子と大地間をDC500V絶縁抵抗計で測って1MΩ未満の場合は以下に従い確認してください。

- ① 試運転時や長時間元電源を切った状態で放置された場合、圧縮機内に冷媒が溜まり込み絶縁低下する場合があります。絶縁抵抗が1MΩ未満まで低下したり漏電遮断器が作動する場合は以下の内容を確認してください。

確認内容

- 圧縮機の配線を外した状態で、圧縮機単体の絶縁抵抗を測定してください。
圧縮機単体で1MΩ以上の場合は、その他の電気充電部の絶縁不良が考えられます。
- 圧縮機の絶縁抵抗が1MΩ未満の場合は、まず圧縮機の配線をインバーター基板から外した状態で、元電源を投入しクランクケースヒーターへの通電を行ってください。
3時間以上通電した後、再度絶縁抵抗を測定し、絶縁抵抗が復帰すれば圧縮機に問題はありません。
(注) 取り外した圧縮機配線を再接続する際は、差込端子のゆるみが出ないように、ラジオペンチなどで端子をカシメ直して取り付けてください。
- ② 漏電遮断器が作動する場合は、漏電遮断器の選定容量も併せて確認してください。
なお、漏電遮断器(ELB)はインバーター対応型とし、定格感度電流が30mA以下のものは高感度高速形(動作時間0.1秒以内)を選定してください。

● 圧縮機が運転しない場合の処置について

- 335GH型、335SH型において、クランクケースヒーターの通電時間が不十分な場合、圧縮機が最大4時間運転できない場合があります。(リモコンの点検モードでd1-22が表示されている) やむを得ず運転を開始する場合には、室外ユニット電源投入30秒後以降に室外プリント基板上のPSW1を3秒以上押してください。強制サーモオフ(d1-22)が解除され運転できるようになります。多機能リモコン(PC-ARF型)をご使用の場合、リモコンからも解除できます。
- ① 「メニュー」ボタンと「戻る/ガイド」ボタンを同時に3秒以上押し続け、試運転メニューを表示させます。
- ② 「△」ボタンを操作して**圧縮機予熱制御解除**を選択し、「決定」ボタンを押します。
- ③ 圧縮機の予熱制御を解除したい場合、「<D>」ボタンで「はい」を選択し「決定」ボタンを押します。

● 室外ユニットの「取扱説明書」ならびに「漏えい点検・整備記録簿」をお客様に渡し、保管を依頼してください。

- 本製品を所有するお客様には、製品性能の維持、また、冷媒フロン類を適切に管理するため、「フロン排出抑制法」に基づき、冷媒漏えいに係る簡易点検・定期点検を実施いただく必要があります。その案内を室外ユニットの「取扱説明書」に記載しているため、必ずお客様にお渡しください。
- 「フロン排出抑制法」に基づき 1) 気密試験の結果、2) 追加充てんを含む全冷媒量、3) 漏えい検査の結果を、室外ユニットの取扱説明書に同梱された「漏えい点検・整備記録簿」に記載したうえで、お客様に必ずお渡しください。

■ユニット停止原因コード表

コード	原因	コード	原因
00	運転オフ、電源オフ	18	インバーター不足電圧リトライ インバーター過電圧リトライ インバーター伝送異常リトライ
01	サーモオフ	19	膨張弁開度ズレ防止リトライ
02	アラーム※1	20	室内-室外ユニット 運転モード違い
03	凍結防止	21	強制サーモオフ (同時ツイン以上) ※4
05	室外ユニット瞬時停電 室外マイコンリセット※2	22	室外ホットスタート (335GH・335SH型 のみ) (圧縮機予熱中) ※5
06	室内ユニット瞬時停電 室内マイコンリセット※3	26	高圧圧力低下リトライ
07	外気温度低下冷房停止 外気温度低下・上昇暖房停止	28	冷房吹出温度低下
09	四方弁切替リトライ	33	強制サーモオフ (フィルター自動清掃中)
10	デマンド、強制停止	34	強制サーモオフ (人感センサー不在検知)
13	高圧圧力上昇リトライ	35	異運転モードリトライ
15	真空異常、吐出ガス温度上昇リトライ	36	異運転モードリトライ
16	吐出ガススーパーヒート低下リトライ	39	節電による強制サーモオフ
17	インバーター瞬時過電流リトライ インバーター電子サーマル作動リトライ インバーター電流検出リトライ	40	強制サーモオフ (冷房時冷風抑制)
		41	強制サーモオフ (ポンプダウン制御中)

※1. アラーム停止中の場合でも必ずしも「02」とはなりません。

アラーム発生前に他の停止原因によりユニットがサーモオフ状態となっている場合は、その時の停止原因コードが残ります。

※2. インバーター～室外プリント基板間の伝送が30秒間途切れた場合、室外マイコンをリセットします。

したがって、04アラーム発生時の停止原因コードが「05」となることがあります。

※3. 室内～室外ユニット間の伝送が3分間途切れた場合、室内マイコンをリセットします。したがって、03アラーム発生時の停止原因コードが「06」となることがあります。

※4. 同時ツイン以上において「21」が表示された場合、他の号機の停止原因を確認してください。

※5. 「22」が表示された場合は室外ホットスタート (圧縮機予熱中: 335GH型・335SH型のみ) です。

■アラーム (異常) 原因コード表

●「EE」アラームは圧縮機焼損に至る可能性が大きい重大な異常のためリモコンからのリセットはできません。

原因コード	異常内容	作動機器・原因など
01	室内保護装置作動 (フロートスイッチ)	水受の異常高水位、配管異常によるフロートスイッチ作動 ドレンポンプ異常、かべかけのディップスイッチ誤設定
02	室外保護装置作動	高圧遮断装置 (4.15MPa) 作動 冷房運転時室外ファンモーターロック

原因コード	異常内容	作動機器・原因など
03	伝送異常 (室内～室外間)	室内外間操作回路配線の端子部ゆるみ、誤配線、室外ヒューズ溶断、インバーター異常、断線、冷媒系統設定誤り
04	伝送異常 (制御基板 (マイコン)～インバーター基板 (マイコン) 間)	制御基板 (マイコン)～インバーター基板 (マイコン) 間の伝送不良、動力ヒューズ溶断、ファンモーター異常
05	相検出異常 (三相機)	室外ユニット電源、端子部ゆるみなどによる欠相
06	室外ユニット電圧異常 (インバーター電圧不足または過電圧)	室外ユニット電圧低下、電源配線容量不足
07	吐出ガススーパーヒート低下異常	電子膨張弁ロックなどによる圧縮機吐出ガススーパーヒート低下
08	圧縮機上温度過昇	冷媒不足・抜け、冷媒配管詰まりなどに起因する圧縮機上温度過昇
11	吸込温度サーミスター異常 (室内ユニット) (断線・短絡)	コネクター部ゆるみ・外れ、断線
12	吹出温度サーミスター異常 (室内ユニット) (断線・短絡)	コネクター部ゆるみ・外れ、断線
13	液管温度サーミスター異常 (室内ユニット) (断線・短絡)	コネクター部ゆるみ・外れ、断線
14	熱交ガス管温度サーミスター異常 (室内ユニット) (断線・短絡)	コネクター部ゆるみ・外れ、断線
16	リモートサーミスター異常 (室内ユニット) (断線・短絡)	コネクター部ゆるみ・外れ、断線
17	リモコン内蔵サーミスター異常 (室内ユニット) (断線・短絡)	コネクター部ゆるみ・外れ、断線
18	室内送風機系異常	室内ファンモーター異常 (脱調)・室内ファンコントローラー故障
19	室内保護装置作動	ファンモーター用プロテクター (49FE) (130℃COFF)
1A	室内ファンコントローラーフィン温度上昇	ファンサーミスター異常 (室内ファンコントローラー異常)・熱交換器詰まり・送風機異常
1b	室内ファンコントローラー過電流保護作動	室内ファンモーター異常
1C	室内ファンコントローラー電流センサー異常	室内ファンコントローラー電流センサー異常
1d	室内ファンコントローラー保護作動	ドライパーICのエラー信号検出・瞬時過電流
1E	室内ファンコントローラー電圧異常	室内ユニット電圧低下・電源配線容量不足
20	圧縮機上温度サーミスター異常 (室外ユニット) (断線・短絡)	コネクター部ゆるみ・外れ、断線
21	高圧圧力センサー異常 (断線・短絡)	コネクター部ゆるみ・外れ、断線
22	外気温度サーミスター異常 (室外ユニット) (断線・短絡)	コネクター部ゆるみ・外れ、断線
24	配管または凝縮 (熱交) 温度サーミスター異常 (室外ユニット) (断線・短絡)	コネクター部ゆるみ・外れ、断線 暖房運転時室外ファンモーターロック
31	室内外組み合わせ容量誤り	室内外ユニット能力コード誤設定、室内合計能力コード過大・過小 e-LINE対応不可システム
35	室内号機設定異常	室内ユニット号機設定の重複、室内ユニット台数が仕様範囲外
38	保護検出回路異常 (室外ユニット)	室外保護検出回路の故障
45	高圧圧力上昇防止保護作動	過負荷運転 (熱交換器目詰まり・ショートパスなど)・冷媒配管詰まり・冷媒過多・不凝縮ガス混入

原因コード	異常内容	作動機器・原因など
47	低圧圧力低下防止保護作動	蒸発温度の異常低下による停止が1時間以内に3回発生 暖房運転時室外ファンモーターロック
48	過負荷運転保護作動	冷媒過多、冷媒配管詰まり、サイクル部品の異常などによる圧力上昇、圧縮機異常(過負荷・ロック・過電流)
51	電流検出異常	過負荷運転(熱交換器目詰まりなど)
53	トランジスタモジュール保護作動	インバーター異常(過負荷・過電流・回転異常・起動失敗)、圧縮機異常
54	インバーターフィンサーミスター異常保護作動	フィンサーミスター異常、熱交換器目詰まり、送風機異常
55	インバーター不動作	インバーター基板異常
57	ファンモーター異常	ファンモーター連絡配線断線・誤配線 ファンモーター故障、インバーター基板異常
5b	過電流保護作動	ファンモーター故障
5c	電流センサー異常	ファンモーター故障、室外プリント基板異常
A1	アクティブフィルター異常	アクティブフィルター異常
b0	室内機種容量設定誤り	機種・容量の未設定、誤りなど
b1	アドレス・冷媒系統設定誤り	アドレス・冷媒系統を64以上に設定など
b5	室内接続台数誤り	H-LINK II非対応室内ユニットが17台以上接続された場合
b6	室内ファンコントローラー基板間伝送異常	無応答・電文不一致・未接続・接続異常
b7	室内-2ファン用基板間伝送異常	コネクタ部ゆるみ、外れ、断線、短絡
d1	冷媒漏えい検知(冷媒ガス漏れ)	冷媒の漏えいを検知
d2	冷媒漏えいセンサー故障	冷媒の漏えいセンサーの故障
d3	冷媒漏えいセンサー未接続	冷媒の漏えいセンサー接続配線のコネクタ抜け、断線
d4	冷媒漏えいセンサーI/F基板EEPROM故障	EEPROMの故障
d0	室内~冷媒漏えいセンサーI/F基板間伝送異常	配線接続不良、センサー I/F 基板の故障
EE	圧縮機保護アラーム	6時間以内に圧縮機要因のアラームが3回発生 (アラームコード:02、07、08、45、47)

■31アラーム詳細

- 室外プリント基板上的のディップスイッチDSW3の設定が間違っている、または設定されていない場合、原因コード「31」を表示します。
- 室外ユニットに接続している室内ユニットの合計容量が接続可能容量比範囲を超える場合、原因コード「31」を表示します。
- e-LINE設定かつ室内ユニット接続台数が4台以上の場合、原因コード「31」を表示します。
- e-LINE設定かつ個別運転設定(室外プリント基板上的のディップスイッチDSW6-1をON)かつ室内ユニット接続台数が3台以上の場合、原因コード「31」を表示します(アラーム解除は、DSW6-1をOFFしてください)。
・ 室内ユニット4台接続(フォー)以上の場合、e-LINE(e方式)はできません。
この場合、伝送線(2線)方式としてください。
・ 室内ユニット3台接続(トリプル)で個別運転とする場合、e-LINE(e方式)はできません。この場合、伝送線(2線)方式としてください。

■35アラーム詳細

- 室外ユニットに接続している(同一冷媒系統)室内ユニットの号機をロータリースイッチ(RSW1)で設定した場合、号機番号が重複していると、室外ユニット電源投入後5分で原因コード「35」を表示します。
- 1台の室外ユニットに対して、接続可能台数を超えた室内ユニットが接続された場合、原因コード「35」を表示します。

共通事項

留意事項

室内ユニット～室外ユニット間の伝送線をH-LINK接続している場合、室外プリント基板の冷媒系統設定用ディップスイッチDSW4、RSWと室内プリント基板の冷媒系統設定用ディップスイッチDSW5、RSW1が正しく設定されていないと、アラーム（異常）原因コードが表示されることがあります。その場合、一旦電源を遮断後、室外プリント基板のDSW4、RSWと室内プリント基板のDSW5、RSW1を正しく設定して、再度電源を入れてください。（室内ユニットの機種によりRSW2が付きの機種があります。）

試運転の前に

試運転準備が完全に完了するまでは、電気配線確認などのためにパッケージエアコンは絶対に運転しないでください。



残留電圧で感電する恐れがあります。

- 電気部品の点検を始める前に、必ずすべての電源を遮断してください。
- 電源遮断後は必ず放電していることを確認してください。


 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

技術的なお問い合わせはこちらへご連絡ください。

技術相談センター

 TEL:0120-578-011

携帯電話・PHSからの場合 TEL:0570-078-078(有料)

〈受付時間:平日9:00～19:00 土日・祝日・弊社休日9:00～17:00〉

 FAX:0120-578-012 〈365日・24時間受付〉

修理のご依頼はお買い上げ店へご依頼ください。
お買い上げ店が不明な場合等は、下記へご依頼ください。

空調修理コールセンター

 TEL:0120-649-020〈365日・24時間受付〉

 FAX:0120-649-021〈365日・24時間受付〉